

●『首飾り - 石を持って山に登る』(祇園山)。山頂に円形に並 んだ石が、山にかけた首飾りに見えます。 ②『マノセ』(馬ノ瀬)。 「自分と向き合う場所に」との思いが込められた、シンプルな言葉 3 『息吹』 (来浦海水浴場)。絶景の場所にポツン と立つ外灯が、息をするかのように明かりを点滅させます。 された手すりが夜間に点灯し、「道」ができます。●『光る道』を 見つめる人々。光が、まるで宇宙に向かって伸びているように 見えます。



71 かに現地の風景、 魅力を引き立てるか

私

のパブリッ

は

名 脇

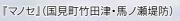
島袋 道浩

成長させていく余地を残しているのです。 国東の素晴らしい景色を再発見してみませんか ないような地域の魅力に触れてもらいたいですね 重ねることができます。現地を訪れた人が作品を 各自が好きな石を持って山に登り、 と話していました。島袋さんのアート作品を通じて きっかけになればうれしいです。普段あまり訪れ 島袋さんは「ア ト作品が、国東を訪れてもらう 作品に石を置いて



例えば、祇園山(国東町綱井)の作品『首飾り』は、 行われました。 される芸術作品)を制作。3月27日にお披露目会が ケーション(通じ合い)」を大切にしています。 ト作品は 「人々とのコミュニ (公共空間に設置





『首飾り 一 石を持って山に登る』(国東町綱井・祇園山)



『息吹』(国東町浜・来浦海水浴場)

地域の魅力を引き出す

島袋 しまぶく 道浩みちひろ

1969年、神戸市生まれ。那覇市在住。1990年代初頭

より世界中の多くの場所を旅しながら、そこに生きる 人々の生活や文化、新しいコミュニケーションのあり方に 関するインスタレーション*などを制作している。詩的で ユーモアにあふれ、社会や人々を啓発する作風は世界的な 評価を得ている。国際展などに多数参加。







